



病院増改築事業が始まりました…

将来あるべき姿への  
病院づくり



2020年オリンピックの東京開催が決まり、7年後に向けた準備が走り出しました。7年後の東京はさまざまなインフラが整備され大きく変わることが予測されています。その頃の病院を取り巻く医療環境と言えば、団塊の世代が後期高齢者となり、2025年以降の、人口減少・超高齢社会に向けた環境整備のための準備が最終段階にさしかかる頃と思われます。超高齢社会では「独居世帯」「要介護」「認知症」という社会問題が待ち構え、医療、介護、社会保障の構造改革は必須です。改革の方向とメニューは先月の「社会保障国民会議報告」で示され、今後、改革を着実に実行できるかが問われることとなります。医療提供体制では医療機関の機能分化と連携、そして医療と介護の連携が大きなテーマとなっています。各医療機関には地域における自院のポジションとミッションを明確にし、将来のあるべき姿に向けて進化し続けることが求められています。このような中、当院は「地域とともに」を病院の理念、基本方針とし、病院創立30周年の今年、新たなステージに向けての取り組みとして、病院増改築事業に取り組んでいます。

病院増改築事業は当院の医療機能の充実と、より地域に開かれた病院づくりをテーマにしています。「増築」については「回復期リハビリテーション病棟」を拡充し、リハビリテーション機能をさらに充実します。新しく「脳卒中予防地域研修センター」を設置し、「地域ぐるみで取り組む脳卒中予防の拠点」に育てていきたいと思っています。「改築」については「外来診療ゾーン」を移設し、外来診療機能の拡充・充実、診察待合エリアのアメニティーの改善に取り組みます。

「増築」工事の目途が「来年春」、「改築」工事の目途が「来年秋」で、約1年間の工事期間となります。またこの増改築工事に併せ、診断機器の更新、新しいリハビリテーション機器の導入等を行い、医療機能の質

の向上にも取り組んでいきます。新しいステージに向かう当院のこれからにご期待下さい。

工事期間中の駐車場についてのお願い

工事期間中現在の患者用駐車場が使用できなくなります。外来通院用に臨時駐車場を設けますが数に制限があります。病院にお越しいただく場合は公共交通機関をご利用いただくか、琵琶湖湖岸の公園用有料駐車場をご利用下さい。ご不便をおかけしますがご協力いただきますようお願いいたします。詳しくは総務課にお問い合わせ下さい。

ICTを活用した  
医療連携ネットワーク

今滋賀県においてICT（情報通信技術）を活用した医療情報連携ネットワークの構築事業がすすんでいます。大津医療圏においても湖西医療圏と一体となって、「同意された患者さんの医療情報」を病院間、病院と診療所間で共有できるシステムの構築がすすめられています。「電子カルテシステム」が導入されている病院が「医療情報の公開病院」となり、連携する病院あるいは診療所がその医療情報を「閲覧する医療機関」となって、患者さんの同意を前提にして、ルールを設け、「患者情報の共有」を行うというのが事業の概要です。このことにより、診療所の先生が紹介をした患者さんの入院中の状態が、あるいは病院から地域の診療所の先生に在宅での継続医療をお願いした時に、その患者さんの入院中の経過や検査データが、インターネットを通じて連携病院・診療所側から閲覧できることとなります。現在は「紙媒体」による情報伝達ですが、ICTの活用により地域における医療連携がいっそう効率的・効果的にすすめられることが期待されています。当院もこのネットワークに参加するとともに、院内におけるICTインフラ整備に取り組んでいくこととしています。

